

令和6年度 特別支援学校初任者研修 カウンセリング研修

この講座は、「児童生徒の理解及び教育相談についての知識を深め、指導や連携の技量を高めること」「自分自身のメンタルヘルスの重要性を知ること」を目的とし、6月5・6日の2日間の日程で実施しました。

講義では、児童生徒の行動の理解、アセスメント、メンタルヘルス、教育相談の意義と役割、校内連携の場面や方法などについて、幅広く学んでいました。また、協議では、研修者同士が対話し、教師としての今の課題や悩みについて、自分の思いや考えを伝え合いました。児童生徒、保護者、同僚など、これから様々な人と対話する上で大切なことについて、実感を伴った気づきや学びをしていた様子が見られました。



講義 1



講義 2



講義 3



講義 4



講義 5



協議

研修者からは、「教師として、児童生徒をどのように見取るのかだけでなく、周りの関係者との連携の仕方、信頼関係を築くための話の聞き方、受け取り方など、働く上で重要なことを学ぶことができた。」「悩みを話すことで、自分では思いつかなかった解決策をアドバイスしてもらえたり、話すだけでも不安が軽減されたりとプラスの効果がたくさんあると気付くことができた。」などの感想が聞かれました。

本研修を基にして、児童生徒の行動の意味をよく考えてかかわることを大切にしてほしいと思います。そして、周囲の先生方に助けを求めることや、自分自身に目を向けることも大切にしながら、笑顔で児童生徒と向き合っている教師になってほしいと思います。